intertek
Total Quality. Assured.

Intertek News

Vol.59
(2018年1月発行)

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

CONTENTS

01 新年のご挨拶

02 特集
03 天動説から地動説へ
マニュアルから施工計画書、適合性と共に
更なるパフォーマンス向上へ

04 News&Topics
- JABによる国内初のGAP認証機関としてインターテックが認定
- 世界のISO認証件数が発表
- CEAR講演会開催
- メルマガ開始のお知らせ
- Information:ISO9001、ISO14001の2015年版の移行審査について

05 審査の現場から
- お客様紹介
(シャボン玉グループ)

06 連載よみもの
- 審査員リレーエッセイ
「大宮について」
(審査員　伊藤 良太)
- 環境とISO14001
「環境側面(2):ライフサイクルの視点を考慮する」

07 お客様からのお便り
- 「ISO9001/14001:2015年版移行への取組み」
(プライミクス株式会社)
- 「白い森から世界を変える」
(クアーズテック株式会社 小国事業所)

08 研修コースのご案内
- ちょっといっぷく
- 研修コース案内
- 受講生からのお便り
(大阪トラック運送株式会社)

インターテック・サーティフィケーション株式会社
発行 大阪事務所 ◇本誌に関するお問い合わせは大阪事務所まで◇
◆Intertek Newsのバックナンバーは弊社ホームページでご覧頂けます。
http://ba.intertek-jpn.com/

新年のご挨拶

オペレーションマネージャー 古沢(ふるさわ) 幹子(もとこ)

皆様、新年おめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

皆様ご存知の通り、弊社は外資系企業です。インターテック社全体としては世界100ヵ国以上の国々で仕事をしていますが、そのうち私たちのようにシステム認証業務をしているのは52ヵ国です。52ヵ国にある事務所のスタッフや審査員が、多い少ないはありますが、私たちと同じように日々審査をし、認証業務を行っています。

認証業務に関する社内文書の作成･改訂も文書管理の担当者がいてその人が全部やるのではなく、各国から選出された人がプロセスごとにチームに分かれて協力しあって作業しています。全世界からの意見を反映させながら作成しますので、まとめるのに多少時間はかかりますが、各国で実施している良いところや世界の価値観の違う人々のアイデアを結集させることができるというメリットはあるように思います。技術的なこと、運用方法、規格の解釈など、どの国も同じようなところで悩んでいますが、グローバルで話し合って解決できるのは我々のような会社の強みであると思います。

ニュースでは国同士の争いを耳にしますが、こうして海外と仕事をしていると、国は違っても相手を思いやる、敬う、相手にベストな方法を考える、という思いは同じだと感じます。そういう思いで仕事をしているグローバル企業の強みを生かして、また、全世界のスタッフとのチームワークを最大限活用して、今年もインターテックだからこそできるサービスを皆様にご提供致します。

天動説から地動説へ

マニュアルから施工計画書、適合性と共に更なるパフォーマンス向上へ

― 2015年版・共通テキストにおけるISO MSの転換 ―
（公共工事・業務向け）

インターテック審査員・営業部
上地　正和

特集

2015年版規格では、パフォーマンスが重視され、より一層の有効活用が期待されます。今回の改訂を機に、有効活用に向けて、システムの見直し・再構築に取り組まれるお客様もいらっしゃるかと思います。システムのスリム化・効率化による本質的なシステム運用に向けての取組みについてご紹介します。効果的運用にお役立ていただければ幸いです。

（編集部）

0 はじめに

ISO9001・ISO14001：2015年版の移行期限を本年9月に控え、すでに多くのお客様が移行へのご対応をいただいているかと思いますが、この機会にシステム改革をしてみませんか。現在の運用内容を見直すきっかけにしていただくためのポイントと期待できる効果についてご案内します。

1 事業プロセスとの統合

ISO共通テキスト（附属書SL）：2015年版では、規格と事業プロセスとの統合を求めています。二重文書・記録の解消、業種・業界毎の固有用語の活用等により、ISOシステムの形骸化を防ぎ簡素化に繋がります。

2 ISO要求事項に合わせるのではなく、業務・工事施工管理内容に合わせる・統合する

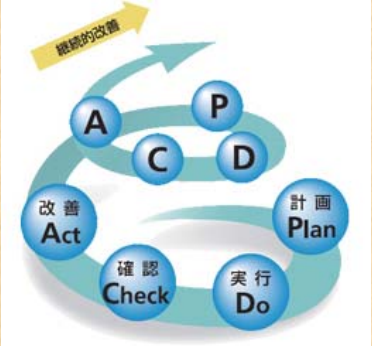
実際の施工計画書・業務計画書などをISOと統合・運用と考えます。
（現在のままの施工計画書や業務計画書などで既にISOシステムと考える事ができます）
※参考例（右図）：公共工事　施工（業務）計画書とISO要求事項とのつながり・対比

3 戦略性をもった取り組み

実際の工事・業務文書・計画書内容が、文書化・プロセス改善・計画性・プロセス毎の戦略性や外部課題・内部課題へと繋がり、可能ならISOの要素を加えることで文書化・計画性、戦略性等が高められます。

4 PDCAでパフォーマンス向上が最大の目的・メリット

文書化されたそれぞれの施工計画書・業務計画書等の内容・プロセスを効果的に実施する事で、工期・業務の短縮、品質・安全・環境等の取り組みの向上、顧客評価・工事成績評価点の向上につなげる。



5 ISO審査準備の軽減、体系化された日常業務が既に（ISO）マネジメントシステム

組織・経営プロセス（経営計画書）等による組織の状況を取り込めば、ISO審査の為の二重準備の最小化、又は要らなくなる事も可能でしょう！

この改訂を機に、外部審査の度に要求事項に振り回されず、必要な業務改善・目標達成に着目、本質的な組織マネジメント運用を進められる事を期待いたします。

公共工事施工（業務）計画書とISO 要求事項とのつながり・対比

施工計画書・・・・ISO 9001:2015・ISO 14001:2015

赤：ISO9001　緑：ISO14001　青：両方

施工計画書 4.4 品質マネジメントシステム及びプロセスなど

1 **工事概要**：（工事名・工期・発注者・仕様・基準等）

8.2、7.5.3 工事に関連する要求事項（特記事項・設計図書・仕様書・基準・指針など）

2 **計画工程表**：（バーチャート工程表・工種毎工程管理）

4.4、8.1、8.5 品質マネジメントシステム及びプロセス・管理・提供など

3 **現場組織表**：（有資格者・役割分担等） 5.3 組織の役割、責任及び権限，7.2 力量，8.4 下請管理など

4 **指定機械**：（建設機械等）：7.1.3 インフラストラクチャーなど

5 **主要資材**：（資材承認）：8.5.2 識別及びトレーサビリティなど

6 **施工方法**：（工種毎の文書化、フロー化、仮設計画を含む）

4.4 品質マネジメントシステム及びプロセス、8.1 運用の計画及び管理、8.5.4 保存

8.5 製造及びサービスの提供、8.5.1 製造及びサービス提供の管理、8.5.3 顧客又は外部提供者の所有物

8 **施工管理計画**：（出来形・品質・写真等）

8.6 製品及びサービスのリリース、9.1 監視、測定、分析及び評価

9.1.3 分析及び評価、 10.2 不適合及び是正処置（施工時の指摘・不適合など）

9 **安全管理** 7.3 認識、 7.4 コミュニケーション、8.7 不適合なアウトプットの管理（苦情対応等）

10.2 不適合及び是正処置（安全パトロール）、9.2 内部監査（安全・環境パトロール）

10 **緊急時の体制及び対応**：8.2 緊急事態への準備及び対応・（安全・環境）

11 **交通管理**：6.1.4 取組みの計画策定 8.2 緊急事態への準備及び対応・（安全・環境）

12 **環境対策**：（近隣配慮・法令順守、振動騒音、排ガス、廃棄物、濁水処理等）

4.4 環境マネジメントシステム、6.1.2 環境側面、6.1.3, 9.1.2 順守義務・評価

6.1.4 取組みの計画策定、6.2 環境目的及びそれを達成するための計画策定

6.2.1 環境目的を達成するための行動の計画策定、8.1 運用の計画及び管理

13 **現場作業環境の整備** 7.1.4 プロセスの運用に関する環境 8.1 運用の計画及び管理

14 **再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法** 6.1.2 環境側面、8.1 運用の計画及び管理

15 **その他** 4.3 利害関係者のニーズ及び期待の理解（近隣・地域配慮、当局への届出：警察、労基署、保健所等）

6.1 リスク及び機会の取組み（現場特有のリスクなど） 7.5.3 文書化した情報の管理・（電子化手順など）

※上記のように、公共工事施工計画書は、ISO 要求事項が含まれており、今後もその文書化の改善、顧客・発注者から評価される施工計画書へ高め、パフォーマンス向上へと一体化も可能です。

JABによる国内初のGAP認証機関としてインターテックが認定

2017年8月28日にGAP認証機関として、日本適合性認定協会(JAB)より認定を受けました。現在、日本国内にGAP認証機関は全部で4社ありますが、JABによる認定は国内で初めてであり、インターテックはその第1号となりました。

2017年3月現在でGAP取得農家は4,113農場。2008年の発足当初から比較して、20倍近くまで増えました。そのうちの約7割がインターテック顧客です。2020年の東京オリンピックに向けてGAP取得農家は著しく増加しています。理由はオリンピックにおける食材調達基準として、GAP認証の取得が条件となっているからです。農家としては自社の農産物をアピールする絶好のチャンスでもあり、大会中は1400万食を確保する必要があるので、取得農家の増加はまだまだ止まる気配がありません。

日本発のGAPには現在JGAP2016(旧JGAP Basic)、ASIAGAP Ver.1(旧JGAP Advance)、2017年8月から新たにASIAGAP Ver.2も加わり、3つの認証スキームが存在します。審査の内容は年々レベルが上がり、取得農家にも高い意識が求められます。また、ASIAGAP Ver.2については日本発の国際的なスキームとしてGFSI(Global Food Safety Initiative)承認を目指し、止まることなく突き進んでいます。

JAB認定証授与式にて
弊社代表取締役 坂井喜好(右)

世界のISO認証件数が発表

ISO(国際標準化機構)中央事務局は、世界のISOマネジメントシステム規格(MSS)の認証件数について集計・調査した"ISO Survey 2016"を公表しました。これは、2016年末時点でのISO9001(品質)、ISO14001(環境)、ISO50001(エネルギー)、ISO27001(情報セキュリティ)、ISO22000(食品産業)、ISO/TS16949(自動車産業)、ISO13485(医療産業)、ISO22301(事業継続)、ISO20000-1(ITサービス)、ISO28000(サプライチェーンセキュリティ)、ISO39001(道路交通安全)の認証件数について集計されたもので、今回2規格が追加された調査対象の11規格のMSSの認証総件数は、前年度から8%増加と全体的に堅実な成長が見られます。

規格別では、ISO9001は、1,106,356件(前年比7%増)の認証で、国別認証数では日本は4位の49,429件。ISO14001は346,189件(前年比8%増)で、日本は2位の27,372件となっています。その他、ISO27001は33,290件(前年比21%増)で日本は変わらず1位。ISO22000は32,139件(前年比±0%)、ISO13485は29,585件(前年比13%増)、ISO50001は20,216件、ISO22301は3,853件、ISO20000-1は4,537件。また、今回より調査に加わったISO28000は356件で日本は2位、ISO39001は478件で日本は1位となっており、今後の発展が期待されます。この調査の詳細についてはISOのホームページでご覧頂けます。
(https://www.iso.org/the-iso-survey.html)

CEAR講演会開催

弊社審査員も審査員資格を登録している一般社団法人 産業環境管理協会 環境マネジメントシステム審査員 評価登録センター(CEAR)主催の講演会が昨年10月に東京と大阪で開催されました。今回は「現場で使える環境法」の内容で、講師が、フロン排出抑制法、廃掃法、労安衛法など、審査でも関わりが多いケースを説明されました。弊社の審査員も参加し、情報の更新や資質の向上に役立てています。

後半には、CEAR担当者より、最近運用を開始された「内部環境監査スペシャリスト」の資格制度が紹介されました。組織に所属される内部環境監査員のパフォーマンス監査力に重点を置いた資格です。詳しくはCEARのホームページでもご確認いただけます。

メルマガ開始のお知らせ

インターテックは、ISOホルダーの皆さまのためのオンラインサービス「ISO運用のお悩み相談・力量アップサポートサービス」をはじめました。

本サービスにご登録いただくと、ISOに関する疑問やお悩みを相談いただけるほか、メールニュース「Intertek Mail Magazine」を、毎週火曜日、ご登録のメールアドレスにお届けします。すぐに活用できるISOに関する知識、メールニュースのみで公開するインターテックのブランドストーリー、セミナーイベントのご紹介、セミナーの割引クーポンなどの情報です。登録方法など詳細は、弊社ホームページよりご確認ください。

注:ISOのコンサルティング提供ではありません。

INFORMATION

ISO9001、ISO14001の2015年版の移行審査について

品質マネジメントシステム(ISO9001)と環境マネジメントシステム(ISO14001)は、2015年版の発行により旧版のISO9001:2008とISO14001:2004はご存じの通り、2018年9月14日で失効いたします。これにともないIAF(国際認定フォーラム)は、2018年3月15日以降のすべてのISO9001及びISO14001の初回審査、サーベイランス(維持)審査及び再認証審査を2015年版で実施しなければならないという決議を採択しました。

インターテック・サーティフィケーションでは、ISO9001、ISO14001の審査日程のご案内は既に2015年版でご案内しております。ご不明な点は、弊社認証部(03-3669-7408)にお問い合せください。

お客様紹介

シャボン玉グループ 様

（ISO14001：2015認証登録）

〔取材者〕 審査員 **美濃 英雄**
Hideo Mino

本社工場（福岡県北九州市）

シャボン玉石けん株式会社様は、福岡県北九州市で1910年に創業され、2010年に創業100周年を迎えられました。1999年にグループ4社でISO14001の認証を取得され、導入から18年を過ぎた現在では、社員の意識向上など社内メリットも大きいと感じられているとのことでした。

2017年7月に2015年版移行審査を受けられ、改訂に伴いマニュアルのスリム化や更なる社員の意識向上に向けた取組みも行われています。審査で良かった点として、「目標設定として取組んでいた廃棄物削減において、生産量が増大している中、発生側での廃棄物の低減化と生産リサイクル率の工夫向上により大幅な廃棄実績を達成したこと」「製造部門の環境目標が、経営、事業活動と一体化されていること」などがあげられました。

シャボン玉石けん様では、無添加石けんを販売されており、その製造・販売を通して、環境保全に貢献されています。シャボン玉石けん様によると、そもそも、「石けん」と「合成洗剤」は、“モノや肌を洗う洗浄剤”という意味では同じであるものの、原料・製法・成分 などが異なる、まったくの別物で、商品の成分表示を見れば石けんか合成洗剤かは、簡単に見分けがつくとのこと。成分に『石けん』という文字がなければ、合成洗剤として見てほぼ間違いないそうです。シャボン玉石けん様の無添加石けんは「石けん成分（液体は水も含む）以外は何も入っていない」、つまり、酸化防止剤・香料・着色料・合成界面活性剤は使用されておらず、昔ながらの釜炊き製法・ケン化法で作る無添加石けんは、原料の油脂に含まれている天然の保湿成分が残ります。天然の保湿成分を含んだ石けんは、肌にやさしく、お子さまから高齢者、敏感肌の方にも使用できるとのことです。

約2000種類ある合成界面活性剤には、人の健康や生態系に有害なおそれがある化学物質に指定されているものもあります。合成界面活性剤の人体や環境への影響は今もなお調査中で、今現在安全とされているものも、今後指定される可能性はゼロではありません。石けんは、排水として海や川に流れ出ると、短期間で大部分が水と二酸化炭素に生分解されます。石けんカスも環境中に流れますが、微生物や魚のエサとなります。石けんは、生分解性に優れ、環境にもやさしい洗浄剤と言えます。

シャボン玉石けん様では、「健康な体ときれいな水を守る」という理念の下、「人にやさしいものは、自然にもやさしい」という思いで、製品づくりに日々取り組まれておられます。工場見学（年間約1万5千人）や展示会、説明会などでの情報発信にも積極的に取り組まれ、更なる環境保全への貢献が期待されます。

高さ26メートルのスプレータワー

釜炊き職人の作業風景：
石けんの出来具合を味見して確認

石けんと合成洗剤の違い

	石けん	合成洗剤（合成界面活性剤）
原料	天然油脂（牛脂・パーム油・米ぬか油など）	石油や天然油脂
製法	ケン化法・中和法	化学合成
成分	固形・粉石けん：脂肪酸ナトリウム（石ケン素地） 液体石けん：脂肪酸カリウム（カリ石ケン素地） ※石けんの成分は上記2種類のみです。	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム（別名:LAS） アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム（別名:ラウレス硫酸ナトリウム） ポリオキシエチレンアルキルエーテル ラウリル硫酸ナトリウム ※その他約2,000種類あります。

https://www.shabon.com/

審査員リレーエッセイ ㊼

From
埼玉県さいたま市
伊藤 良太
（いとう　りょうた）

Profile
専門分野：ISO9001－電気部品、精密機器、半導体
経　　歴：ルネサス エレクトロニクス株式会社、インターテック審査員（現職）

審査員からのエッセイをお楽しみください。

「大宮について」

私が住んでおります埼玉県さいたま市の「大宮駅」近辺について、今回、少しご紹介させていただきます。大宮には、「氷川神社」という「武蔵一宮（むさしいちのみや）」と呼ばれる大変由緒ある神社があります。氷川神社へは「氷川参道」というおよそ2kmの参道があり散歩にぴったりです。氷川神社の隣には「大宮公園」があり、桜の時期はお花見で多くの人が訪れます。また大宮公園には無料の小動物園もあり、私もたまにカピバラなどを見て癒されたりします。

その他にも「鉄道博物館」や「造幣さいたま博物館」などの多くの見所があります。「大宮駅」へお越しの際は、一度立ち寄られてみてはいかがでしょうか。

連載「環境とISO14001」㊼

「環境側面（2）」－ライフサイクルの視点を考慮する－

環境主任審査員　**郷古 宣昭** *Nobuaki Goko*

1. ライフサイクルアセスメントとは

ライフサイクルとは原材料取得から生産、配送、使用を経て使用後の処分に至る製品の一生を表す概念で、ライフサイクル全体を通してのインプット・アウトプットの特定及びそれらの環境影響評価をライフサイクルアセスメント（LCA）と言います。

地球環境の視点からは、例えば製造会社の場合、自社が受け持つ製造活動の環境負荷だけを考えていれば良いのではなく、ライフサイクルの上流にある原材料採取から下流側にある製品の配送や製品の使用、さらには使用後の処分に至る全ての段階での環境負荷を調査して、ライフサイクル全体で環境負荷を低減することが求められています。

2. ISO14001が求めていること

LCAの方法についてはISO14040及びそのシリーズ規格によりLCA実施の手順が示されています。当然ながら、製品構成部品の数や、注目する環境負荷の種類（例えば、CO_2排出量、NOx・PM排出量、水資源使用量、金属・木材資源の使用量、海産物使用量等）により評価対象が広がり、LCAの実施は煩雑で困難な作業を伴います。そのため、「ライフサイクル思考(LCT)」という広い意味の用語も使われています。これには、「環境配慮設計」や「カーボンフットプリント」を含むようです。

ISO14001では「ライフサイクルの視点」という語を用い、詳細なLCAを要求するのではなく、組織が管理できる、又は影響を及ぼすことができるライフサイクルの各段階で、注意深く考えることを求めています。「注意深く」とは、関連するライフサイクルの段階に存在する森林破壊等の重大な環境問題を見逃さないようにということです。

3. ライフサイクルの視点で配慮すべきこと

製造会社が配慮すべき事項を例示してみます。

(1)製品の設計段階で以下の事項が配慮されていること。
- 製品の配送時の輸送効率を上げるための製品のサイズ最小化、積載効率を上げるための形状最適化。
- 製品使用時の使用エネルギーが少ないこと。耐久性が高いこと。
- 製品使用後の解体容易化、リサイクル処分容易化。
- 製品に有害物質を含まないこと。

(2)原材料の購買段階で確認すべきこと。
- 採取場（鉱山、森林、漁場）が適切（合法、認証されている）であること。
- 採取場から自社へのトレーサビリティーが明確であること。

(3)化学物質含有情報が明確に示されていること。
- 原材料に含有する化学物質情報が明確であること。
- 製品に含有する化学物質の情報が使用段階及び使用後処理の段階に伝達されていること。

(4)環境負荷が少なくなる最適使用条件が伝達されていること。

(5)使用状況データが製造者にフィードバックされること。

このようなライフサイクルを通しての管理が要求されるようになった背景としてCSR(社会的責任)の広がりがあります。特にライフサイクルの上流で起こる森林破壊や鉱物採掘残渣による汚染を防ぐこと、ライフサイクルの最終段階で行われるリサイクル活動を支援するという社会的要求によるものです。また、リサイクルに焦点が当てられていることは、資源の枯渇が益々深刻になってきていること意味しているのではないでしょうか。

次回は「環境側面」の第3弾として「紙、ごみ、電気」について概説します。

No.01 Letter

ISO9001/14001：2015年版移行への取組み

プライミクス株式会社（ISO9001：2015、ISO14001：2015認証登録）
マーケティング本部 経営企画部長　永井 康子

当社は、医薬品や化粧品、食品、化学品材料など、様々な製造に使われる高速攪拌機を製造販売している企業で、昨年創業90周年を迎えました。2015年8月に大阪市福島区から淡路市（淡路島）へ本社/工場を移転しました。新しい社屋には隣接した寮もあり、職と住が一体化した新しい働き方を提案するコンセプトでつくられています。工場や研究所の設備は効率や高機能を目的に最新設備となっていることはもちろんですが、ミュージアムも併設されており、地域の方や学校関連の方々が多数見学に来られています。2016年には、この本社/工場が、第29回日経ニューオフィス賞の近畿ニューオフィス賞を受賞しました。

移転した2015年度からの3ヵ年計画「CHANGE」では、社内改革に取り組んできました。ISOについても、ISO9001およびISO14001の2015年版への移行に取り組みました。社員が現場で使い続けるISOにしていくために、各部門のフロー図などマニュアルの形状も大幅に変更しました。2017年6月には2015年度版の移行審査を無事受けることができました。

上）併設ミュージアム　下）本社/工場（淡路市）

▶ http://www.primix.jp/

No.02 Letter

白い森から世界を変える

クアーズテック株式会社 小国事業所（ISO9001：2008、ISO14001：2004認証登録）
小国安全衛生・環境担当　今 朋子

小国事業所（山形県小国町）

当社が工場を置いている山形県小国町は、飯豊・朝日両連峰に抱かれ、町を象徴する二つの素材であるブナと雪から共通してイメージできる「白」を基調に、町全体を“白い森”と表現しています。そんな大自然に囲まれた『白い森 小国町』にあるエンジニアリングセラミックスメーカーが当社です。

小国事業所は、本年創業80年という長い歴史を持ち、従業員が550名以上と山形県内でも有数の規模を誇ります。半導体製造の川上工程から川下工程において必要不可欠かつニッチな分野の製品を世界市場に供給し、高いシェアを獲得しています。

当社では、他にIntertek様で秦野事業所、クアーズテック長崎でもISO9001、14001の認証取得をしております。現在小国事業所では移行審査に向け、マニュアル改訂から運用と準備を進め、無事に認証継続出来るよう邁進しているところです。その一環としてIntertek様より講師を派遣いただき、内部監査員講習にて理解を深めることが出来ましたこと感謝申し上げます。今後も更にユーザーの皆様に安全・安心・安定した高品質の製品をお届けして参ります。

小国事業所 全社員集合写真

▶ http://www.coorstek.co.jp/

ちょっといっぷく

今年の干支は、戊戌（つちのえいぬ・ぼじゅつ）。「戊」は、「茂」から、植物が絶頂の状態にあるという意味が、戌は正反対の「滅」の意味から草木が枯れる状態を表し、どちらも変化を意味する「土」の気を持っていることから、大きな変化や変動、変わり目を意味しています。

今年は、アニメーションに大きな革新を与えたディズニーが生んだ、ミッキーマウスのスクリーンデビュー90周年にあたります。ミッキーマウス誕生にはウォルト・ディズニーの壮絶な苦労があったそうです。ウォルト・ディズニーは、ミッキー誕生前にその原点とも言われるウサギのキャラクター、オズワルドを生み出し大変な人気を得ていました。ところが、映画配給元のユニバーサル・ピクチャーズとの間に版権争いが発生し、オズワルドを奪われた上に、社員も引き抜かれてしまいます。失意の中、彼の元に残った親友のアニメーター、アブ・アイワークスと新たに生み出したのがミッキーマウスでした。1928年11月18日、「蒸気船ウィリー」という映画でミッキーマウスが登場。この映画はミッキーとミニーのデビュー作というだけではなく、世界初のトーキー（音声付）・アニメーションで、初期の頃はディズニー本人が声優も務めていたそうです。

ちなみに、コンピューターのマウスの感度を示す単位は「ミッキー」というそうで、マウスを100分の1動かすと1ミッキー（約0.25mm）になるとのこと。命名者はマイクロソフトのプログラマーで、ミッキーマウスに由来するジョークと推測されています。辞書で「Mickey Mouse」と引くと、本来のミッキーマウスの意味以外に、そこから派生した「取るに足らない」「たやすい」「失敗」など色んな意味が出てきます。ミッキーマウスがいかに広く浸透し派生しているのかが感じられます。

今年の干支は、干支の中でも子（ね＝ネズミ）と相性がいいと言われている戌（いぬ）。風水では、「鳴き声が邪気を鎮める」「家の中の気を活性化する」と言われ、縁起のいい動物として考えられています。また多産・安産な犬は、子宝・安産の象徴としても知られていますが、弊社東京事務所（日本橋）の近くには、安産祈願で有名な水天宮があり、東野圭吾原作のドラマ「新参者」にも登場しました。また、戌は陰陽五行では金運を表し、福を呼びこみ、幸運を招くとされています。皆様方にとりまして健やかで福が溢れる年になりますよう心よりお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。（参照：ディズニー公式HP、Dysney HP、ディズニー＆ミッキーマウス情報局HP、Webopedia、水天宮HP）

Information on training courses

研修コースのご案内

開催日程・開催地等、研修に関する詳細は弊社ホームページにてご確認ください。

内部監査員研修コース

マネジメントシステムの維持・改善のために必須の内部監査。その知識とスキルを身に付けます。これから導入を予定されている企業や、既に導入され更に効果的な運用を目指される組織の皆様方にもお薦めです。

- 内部監査員コース
  9001／14001／18001／27001／39001　（2日間）

開催地　東京・大阪・名古屋・浜松・富山・金沢・新潟・福井・他

対象者
- 品質／環境／労働安全衛生／情報セキュリティ／道路交通安全マネジメントシステムの導入を予定／検討している
- システムをより効果的に運用したい
- 効果的な内部監査を行いたい

移行対応セミナー

ISO9001：2015、ISO14001：2015へのスムーズな移行に向けて、規格要求事項の考え方、各条項の詳細内容と解釈、重要ポイントなど、演習を交えて分かりやすく解説します。モデルケースの解説を元に具体的な対応策をご理解頂けるような内容になっています。

- ISO9001：2015　移行対応セミナー　（1日間）
- ISO14001：2015 移行対応セミナー　（1日間）

開催地　東京・大阪・名古屋・浜松・仙台・青森・他

対象者
- ISO9001:2008／ISO14001:2004を既に運用している
- 管理責任者、内部監査員（中～上級者向け）

＊弊社ホームページよりお申込み頂けます。FaxまたはEmailでのお申込みの場合は、ホームページより申込書をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、ご送付ください。

受講生からのお便り

ISO9001:2015内部監査員コースを受講して

品質内部監査員コース（2017年10月大阪会場）受講

大阪トラック運送株式会社
営業　中田 明臣

当社は全国ネットの総合物流事業を展開する新潟運輸グループの関連企業で、新潟運輸の全国ネットを利用しての特積（路線）・貨物輸送・全国貸切便・引越業務・地場輸送など輸送・一時保管業務を顧客ニーズにタイムリーに対応し、常に『まごころ輸送』に努めている企業であります。

今回、品質マネジメント内部監査員について学ばせて頂き感謝します。ISOのシステムについては非常に難しいイメージをもっていましたが、講師の方の素晴らしい導きにより楽しく知識を深めることができました。特に“プロセス”という言葉が体に染み入り、PDCAサイクルの大事さが深く理解することができました。また、監査を行う実施演習を経験することで新しい発見や監査員としての取り組み方や業務や手法を理解することができました。

今後は今回の研修で学んだことを生かして、品質面からマネジメントシステムの運用を行って大阪トラック運送をもっと品質のいい会社として盛り上げていきます。今日もまごころと荷物を運ぶ大阪トラック運送をよろしくお願い致します。
（ホームページ：http://osakatrk.com/index.html）

インターテック・サーティフィケーション株式会社　http://ba.intertek-jpn.com/
東京事務所　〒103-0012　東京都中央区日本橋堀留町1-4-2 日本橋Nビル　TEL：(03)3669-7408　FAX：(03)3669-7410　E-mail：info.ba-japan@intertek.com
大阪事務所　〒532-0003　大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル5F　TEL：(06)6150-0571　FAX：(06)6150-0575　E-mail：info.ba-osaka@intertek.com